

# スピードと正確さをもって着実に進めます！ まるごと元氣なまちづくり

市では、総合計画に掲げるまちづくりを進めるため、部や課(または施設など)が今年度どのような政策や事業に取り組むのかを定め、年度末には目標がどのように達成されたかを評価する目標管理制度を導入しています。平成30年度の各部の目標をお知らせします。

※前年度の目標やその成果はホームページに掲載

問 人事課 大前 TEL22-1394



## 市民健康部



市民健康部長  
やぎゅうよし のり  
柳生 芳憲

- 「おもてなしの心」をもって親切丁寧な窓口業務を実施し、市民満足度の向上を目指します。
- 『たじみ健康ハッピープラン』後期計画の3つの重点事業である「毎日野菜摂取」、「30分ウォーキング」、「禁煙・受動喫煙対策」を関係機関などと事業推進します。
- 国民健康保険の適正な賦課・給付事務を実施します。
- 国民健康保険、後期高齢者医療保険の保険料収納体制を強化し、債権管理計画に掲げる目標収納率を達成します。
- 地区事務所の適正な開所時間の見直しを実施します。
- 市民病院と連携して医療体制の充実を図ります。

## 企画部



企画部長  
すずき りょうへい  
鈴木 良平

- 公共施設適正配置計画を策定し、公共施設のあり方を示します。
- 第7次総合計画の見直しに向け、討議課題集をまとめます。
- 動画・パンフレットを活用し、移住定住促進を積極的にPRします。
- 感震ブレーカー購入補助など自主防災組織を支援します。
- 危険空家の所有者を調査し、取り壊しなどの指導・勧告・命令をします。
- 非常勤職員の新たな制度の導入に向け、方針を定めます。
- 新たな広報手段としてSNSを活用し、積極的に市政情報を発信します。
- 情報システムにおける災害時業務継続計画(ICT-BCP)を策定します。

## 経済部



経済部長  
なが え のぶ ゆき  
長江 信行

- 新たな工業団地を開発するため、高田テクノパーク開発事業に着手し企業誘致を進めます。
- ビジネスプランコンテストにより起業する方を支援し、多治見のまちなかを元気にします。
- 観光協会と連携して、観光PR事業や着地型観光事業を行い、市内への観光誘客を進めます。
- 中小企業の生産性向上を図る先端設備投資を支援するため、導入促進基本計画を策定します。
- 農地利用と合わせた空き家再生補助制度を創設し、農地の再生と移住定住を進めます。
- 陶磁器意匠研究所の3Dプリンターを活用し、タイルや飲食器のデザイン支援を行います。

## 総務部



総務部長  
うちだ ひろゆき  
打田 浩之

- 財政向上指針に沿った予算編成と健全な財政運営を推進します。
- 第7次総合計画の見直しに向けた財政推計を作成します。
- 市税の適正・確実な賦課および収納率の維持向上に努めるとともに、その他の収納金についても目標収納率の達成を目指します。
- ふるさと納税、ネーミングライツの推進、国・県の補助金などの活用により収入の確保を図ります。
- 新本庁舎建設に向けた調査研究を進めるとともに、市有地の適正な管理・有効活用を進めます。
- 法制事務などの確実な実施と各審査会・審議会の適正な運営を行います。

## 環境文化部



環境文化部長  
わか お ひろよし  
若尾 浩好

- 感謝と挑戦のTYK体育館をスポーツおよび防災の中心的施設とするため、総合的な整備工事を行います。
- 星ヶ台運動公園整備計画を策定します。
- 5年間限定で補助内容を拡充した地域集会所施設整備等補助金の利用を促進します。また、自治組織の強化、加入促進を支援します。
- 第2次人権推進指針策定に向け市民意識調査を行います。
- 民間と協力し暑さ対策に取り組めます。
- 無縁墓地設営や多様な埋葬方法などの方針を決定します。
- 三の倉センター(ごみ焼却施設)の第2期基幹改良長寿命化工事を引き続き行います。

## 福祉部



福祉部長  
とみだ あきのり  
富田 明憲

- 第4期地域福祉計画を策定します。
- 地域福祉協議会や地域の支え合い活動を支援します。
- 障がい者の基幹相談支援センターの立ち上げ準備をします。
- 精華愛児幼稚園の新園舎を建設し、開園の準備をします。
- (仮)小泉交流センターの建設に向けて、造成、設計を行います。
- 子どもの貧困対策として、学習支援、子ども食堂補助を始めます。
- 高齢者の在宅医療・介護連携、認知症初期集中支援チーム、生活支援コーディネーターの取り組みを始めます。
- 居宅介護支援事業所(ケアマネ事業所)の指定事務を始めます。

## 議会事務局



議会事務局長  
せんごくひろゆき  
仙石浩之

- 市議会本会議、委員会、研究会などの運営をサポートします。この中で、時間外勤務の削減など議会事務局の働き方改革を進めます。
- 来年の改選で、議員数が3名減の21名となるため、委員会の構成など議会組織を見直します。
- 議会として総合計画の進捗状況をチェックし、決算審査に生かします。
- 3つの常任委員会で年間テーマを定め研究活動を活発化することや、議員間討議を通して議会の活性化に努めます。
- 「議会だより」やホームページにより議会活動を広く伝え、「市民と議会の対話集会」を開催します。

## 都市計画部



都市計画部長  
ほそのみちなか  
細野道伸

- 商業・サービス機能の維持向上、安全で快適な交通・生活環境の形成、駅周辺の賑わい創出のため再開発事業を進め、4年後の完成を目指します。
- 200円バスを継続するとともに、あいのリタクシーを拡充し、交通施策の充実を図ります。
- ネットワーク型コンパクトシティ形成に向け、居住誘導区域、都市機能誘導区域を定める立地適正化計画を定めます。
- 住宅施策の一環として、空き家バンクを創設します。
- 道路網構想に基づき、(仮称)平和・太平線の整備を推進します。
- 土地の境界や面積を確定する地籍調査を実施します。

## 監査委員事務局・選挙管理委員会事務局



事務局長  
さわださとよ  
澤田誠代

- 投票所施設の老朽化に伴い、投票区域の一部見直しと投票所の変更を行い、対象地域の皆さまにお知らせします。
- 平成31年4月の統一地方選挙に向けた準備を行います。
- 18歳からの投票年齢拡大に伴い、主権者教育の一環として模擬投票など出前講座の拡大を図ります。
- 憲法改正に伴う国民投票に対し、調査・準備を行います。
- 市の予算が最小の経費で最大の効果を果たしているか、監査委員の補佐役として適正な監査業務を行います。
- 公平委員会・固定資産評価審査委員会の業務を適正に執行します。

## 建設部



建設部長  
くのしげのり  
久野重徳

- 渋滞緩和・交通安全のため、若松・大敷交差点と314300(小名田)線の市道改良事業、土岐・多治見北部連絡道路事業を進めます。
- 高根団地内に集約化促進住宅を建設し、老朽化した市営住宅の集約化を進めます。
- 雨水排水施設整備、橋梁耐震化、急傾斜地崩壊対策など、浸水・地震・土砂等災害に対する防災事業を進めます。
- 都市基盤施設(道路・河川・公園・市営住宅など)を適正に維持管理するとともに、施設の長寿命化を進めます。
- 市民と協働して、里山整備、貴重樹木の保全活動、花かざりなどの緑化事業を進めます。

## 教育委員会事務局



副教育長  
すずきとしお  
鈴木稔朗

- 第2次教育基本計画「たじみ教育生き生きプラン」に基づき、子ども一人一人の自己肯定感を高め、自立する力と共生する力を育成します。
- 安心・安全でおいしい給食を提供します。(仮称)食育センター建設事業を推進します。
- 英語指導助手を増員し、英語教育を充実します。
- 教職員が笑顔で元気に子どもに向き合うために「教職員の働き方改革プラン」を推進します。
- 就学援助事業を充実し「入学準備金」を入学前に支給できるようにします。
- 小泉小学校建設の設計を完了するほか、学校施設の計画的な改修を進めます。

## 水道部



水道部長  
ふじいけん  
藤井憲

- 新土岐川左岸ポンプ場を出水期までに運用開始し、浸水対策を強化します。
- 下水道事業の長期的な健全経営を図るため、公営企業会計化を進めます。
- 安全・安心な水道水の供給のため、滝呂台配水池や老朽管の更新を行い、水道施設の耐震化を進めます。
- 快適な住環境のため公共下水道整備を進めるとともに、下水道施設の耐震化を進めます。
- 上下水道の処理施設や処理方式を見直し、効率的な事業運営を図ります。
- 下水処理施設を適正管理し、放流水質の向上を図ります。

## 消防本部



消防長  
ふるたあきひさ  
古田明久

- 北消防署の建て替えについて、適地選定委員会を設置し候補地を選定します。
- 多治見駅周辺の中高層建築物の火災に対応するため、35m級はしご車を更新整備し、火災対応力のさらなる向上を図ります。
- 事業所の立入検査などにより消防関係法令の違反是正を行い、火災から人命、財産を守れるようにします。
- 地域防災力の中核として欠くことのできない消防団の充実強化のため、消防団員の加入促進に努めます。
- 救命講習受講者毎年1万人以上を達成し、その場に居合わせた人が救命処置できるようにして救命率の向上を目指します。

## 会計課



会計管理者  
まつだまゆみ  
松田真由美

- 会計事務の適正な執行を徹底します。
- 平成29年度に運用を開始した新財務会計システムの円滑な運用のための支援をします。
- 備品台帳データを同システム内で適正に管理するための操作支援を実施します。
- 資金管理運用基準に基づき、歳計現金や基金の確かかつ有利な運用を実施します。
- 平成29年度の資金運用実績を公表します。
- 有価証券、備品などを適正かつ安全に保管管理します。
- 平成29年度決算を適正に調製します。
- 毎月出納関係資料を作成し、監査委員に報告します。